

受付番号

26

承認番号

大歯医倫 第 110904 号

研究課題名

歯科用 CBCT を用いた咬合接触像の三次元解析

研究責任者

佐藤 正樹

申請者

池内 慶介

研究終了日

平成 30 年 3 月 31 日

所 属

有歯補綴咬合学講座

所 属

歯学研究科 有歯補綴咬合学専攻

職 名

講師

職 名

大学院 1 年生

申請の概要

我々はこれまでに、咬頭嵌合位の咬合接触を解析するため、シリコンチェックバイトを試料として、光学的に二次元の画像を処理する add 画像法や、レーザー光を用いた非接触形状計測による咬合接触の三次元解析法を報告し、健常有歯顎者の咬頭嵌合位における正常像や咬合の不安定な患者の病態などについて報告してきた。しかし、これまでの三次元構築法ではレーザー光で計測するため、試料をトリミング、レーザー光の透過を防ぐための表面処理など煩雑な手技が必要であり、広く臨床応用する上で問題があった。近年、咬合印象による印象体を歯科用コーンビーム CT（以下、歯科用 CBCT とする）を用いて直接形状計測し、CAD/CAM でクラウンを製作する手法が開発された。この手法は、試料のトリミングが不要で上下顎の位置情報や形態を同時に計測でき、短時間で撮影できる等のメリットがある。そこで、本研究では歯科用 CBCT を用いた咬合接触の三次元解析法を開発し、咬合接触像の三次元解析を簡便にすることを目的とした。